



## 会礼（校長の話）

大型連休が終わり、5月も半分が過ぎようとしています。あたりを見渡すと、茶畑や野山が鮮やかな緑色に染まり、吹いてくる風もさわやかでとっても気持ちがいいです。遊びや運動、勉強にとってもいい季節ですね。



さて、今日は二つのお話しをします。一つ目は笠原っ子の皆さんがとっても頑張ったことについてです。始業式から、皆さんは何を頑張ってきましたか。勉強を頑張っている人、運動を頑張っている人、あいさつを頑張っている人など、いろいろだと思います。その中で、校長先生がとっても感心しているのは、欠席がとっても少ないことです。

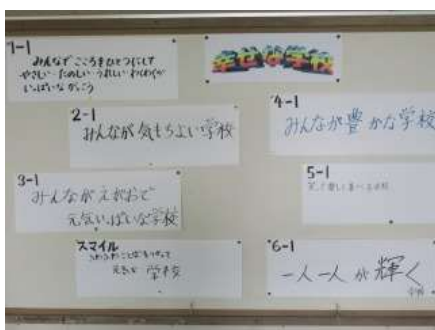
今、笠原小学校には、145人の笠原っ子がいますが、4月に1日も休まずに登校できた人が124人もいました。運動も勉強も、友達との生活も、学校に来ることから始まります。風邪をひかないように、けがをしないように頑張ろうとする人が多い笠原小はとっても素晴らしいと思います。もちろん、調子が悪かったり、けがをしていたりしたら無理をしないでゆっくり休むことが必要です。また、お家の都合でどうしてもお休みしなくてはならないこともありますね。大切なのは、自分でできるかぎり健康に気を付けていくことです。コロナウイルス感染症もまだまだ油断ができません。一人一人がこれまでのように、気を付けていきましょう。

二つ目は、皆さんに考えてもらいたい事です。それは、「幸せな学校」についてです。始業式で、この笠原小学校のめあては「学び合い 認め合い 挑戦する笠原っ子」だよっていう話をしました。もう一つ頑張ってもらいたいことは、「幸せな学校づくり」です。「幸せな学校」とはどんな学校でしょう。よく、昔話で、「おじいさんとおばあさんはずっと幸せに暮らしました。」という終わり方をしますが、皆さんが考える「幸せな学校とはどんな学校でしょうか。5分間、時間を取るのでもクラスで話し合い、一つにまとめてみてください。「これが正解」というものはないので、皆さんのクラスで自由に考えてみてください。できたものは用紙に書いて会議室まで持ってきてください。時間内にまとまらなかったクラスについては、あとで出してください。

ではいいですか、用意、スタート

短い時間の中で、どのクラスも一生懸命考えてくれましたね。少し紹介してみます。

どれもみんな幸せそうですね。間に合わなかったクラスも掲示しておきます。さて、じゃあ、皆さんが考えてくれた幸せな学校ですが、このような学校にするのは誰でしょうか？先生でしょうか？地域の人でしょうか？PTAの人たちでしょうか？今言った人たちの力ももちろん必要ですが、肝心の人が抜けています。



誰でしょうか？そうです。皆さん笠原っ子たちです。学校づくりの主役は皆さんです。皆さん一人ひとりが自分のできる事に取り組み、幸せな学校づくりを進めていきましょう。これで、校長先生のお話を終わります。